

中高一貫だより

<編集・発行>
えりも地区連携型
中高一貫教育
推進委員会事務局

「えりもの人材育成」を担う中・高等学校

えりも地区連携型中高一貫教育推進委員会副委員長

(えりも町立えりも中学校長) 千葉 繁

「えりもの子を町内で育てたい」という願いのもと「連携型中高一貫教育」が平成16年度からスタートしました。当時は「ゆとり教育」が文科省の施策として打ち出され、高等学校への過剰な受験勉強を見直そうという機運も高かった時代です。その点では、えりも町内に高等学校が設置されているという点では、とても恵まれた教育環境を提供する決断と言えます。

時代の急速な変化・改革が進み、教育についてもさまざまな改革がなされている最中です。「中高一貫教育」を実施している地域は道内でもわずかですが、どこも地域の自然や産業を意識した教育内容が盛り込まれ、地域で将来的に力を発揮できる人材の育成にポイントが置かれたものとなっているようです。

えりも中・高校では、生徒会のつながりや一部ですが部活動でのつながりなど、「つながり」を意識した取組を続けてきています。それぞれの学校での「特別活動」「総合的な学習の時間」などでは、特に「えりも町」に関わるテーマでの学習や活動や展開されています。

当然のことですが、学校だけでは実施できない学習活動も多く、町内はもとより多くの関係機関や事業所などの協力を仰ぎながら、子どもたちへ「学び」を提供させていただいています。

本年度は、えりも高校がすでに実施している「修学旅行でのえりもPR活動(昆布の配布)」を参考にして、えりも中学校でも実施しました。3年生修学旅行(東京都江東区でえりもPR活動[昆布の配布])、そして2年生宿泊学習(札幌市JR南口広場でえりもPR活動[昆布の配布])です。

えりも高校とえりも中学校の教育活動は、さまざまな面で関連性をもたせるように、教員同士が知恵を出し合いながら充実させています。ぜひ、町民のみなさんから「こんな活動の応援できるよ」というようなアドバイスがいただけたらありがたいと考えています。

ぜひ、えりもに関わる「ユニークな活動」がございましたら、学校に声をかけてください。

進路講話について

◎12月8日(金)、えりも中学校全学年とえりも町内のすべての小学校6年生を対象として、行われました。えりも高校から来校されたのは以下の4名です。

- 岩谷 実咲さん【進学…札幌大学 地域共創学群】
- 加藤 優作さん【進学…札幌スポーツ&メディカル専門学校、スポーツ保育学科】
- 岩間 園佳さん【就職…株式会社 柳月】
- 中村 尚貴さん【就職…浦河町役場】



◎小学校6年生の感想

「真剣さが伝わってきました。」

◎中学生の感想(一部抜粋)

「大事なことは普段の授業や家での勉強をしっかりとすることだと思った。」

「感謝すること、目標を見つけることが大切なのだとわかりました。」

おいでよ えりも高校

(平成29年10月11日 於えりも高等学校)

10月11日(水)、えりも高校で「一日体験入学」が実施されました。えりも中学校の2年生37名、様似中学校3年生2名が参加しました。参加した生徒たちは、全体会で三浦真児校長からの話につき、高校の教務部と進路指導部から「高校生活ガイダンス」、生徒会からの学校行事の紹介を聴きました。次に、高校での6時間目に行われているすべての授業を自由に参観しました。授業後は、部活動を体験しました。授業を見学した中学生の感想としては、「良い雰囲気で楽しそうに授業を受けていた。」「静かで集中していた。」「えりも高校はクラスを細かく分けて授業を行っていることがわかりました。」「先生の説明がわかりやすかった。」などが上がっていました。また、「将来に困らないような勉強をして、後悔しない生活を送りたい。」と決意を新たにしている生徒もいました。

～えりも高校の強み～

1. 4人に1人の充実した教員数により、進学のための面接や小論文、新たに大学入試で重視される記述カスピーキング力対策もきめ細やかに指導できる。
2. 進学先や就職先の選考方法として、高校での活動内容がこれまでより重視される。そのため、部活動や各種委員会の役員経験、インターンシップやボランティア活動、町行事への参加など、盛りだくさんの経験を生かすことができる。



第2回中高合同会議開催

(平成29年12月7日 於えりも中学校)

平成16年度にスタートしたえりも中学校とえりも高校の連携型中高一貫教育は今年で14年目を迎えました。今回の会議で冒頭に川上教育長は、14年前にスタートした時点を振り返り、中高一貫教育が今日まで創意工夫を重ねてここまで推進し、えりも町の教育力向上に努めてきたことを評価されました。今後もしろいろな課題もでてくるであろうが、知恵を出し合ってより良きものにしていただきたいと訓示をされました。各部会からの報告内容は以下の通りです。



| | 主な実施内容 | 要 点 |
|--------|--|--|
| 事務局 | 百人浜フィールド学習の実施(6月・9月) 中高一貫だよりの発行(3回) えり高1日体験入学の開催(10月) | 百人浜フィールド学習では、植樹・伐採を通してえりもの自然環境について理解できるよい行事となっている。また高校一日体験入学については課題もあり、より良いものにするために検討していく。 |
| 教育実践部会 | えりも中学校学力テスト分析結果の共有(4月) 第1回つなぎ学習の実施(7月) 中学生面談(11月) | 7月に行われた第1回つなぎ学習については、中学3年生の進路意識の高揚が図られた。また、11月に行われた中学3年生への、高校教員による面談は、中学生のキャリアプラン、自己理解を深めることができた。 |
| 進路連携部会 | えりも高校進路説明会の開催(4月) 職業別ガイダンスの実施(8月) 高校生活ガイダンスの実施(10月) | えりも高校進路説明会は、昨年度の7月から4月実施に移行し、滞りなく遂行できた。従来のキャリア教育説明会に比べて意義のあるものではあるが、高校側の担当部署など新たに検討する必要があると思われる。 |
| 特別活動部会 | 新入生生徒理解懇談(3月) 部活オリエンテーション(3月) いじめ撲滅宣言(7月・10月) | 中高6年間を通して部活動を継続させるために、中間で連携を深め、各部活動で合同練習等を行っている。今後も新入生への理解を図り、生徒会や部活動で中高の交流を深めていきたい。 |
| 国語科部会 | 漢字コンクール、漢字検定(6月・10月)の実施 中学校・高等学校相互の公開授業(11月) 高校教員による乗り入れ授業(書写) | 中高一貫で「漢字テキスト」を授業の中で適宜使用し、成果を上げることができた。また、高校教員による乗り入れ授業も好評であり、今回は入試問題の解説などを行ってほしい。 |
| 社会科部会 | 社会科・地理公民コンクール(2回) 百人浜に関する学習 乗り入れ授業(1月～) | 「百人浜に関する学習」では、中学校においてはNIE(新聞記事を用いた教育)、高校では校志として作業の必要性を調べる学習などを行い、成果が出た。また、百人浜に関わる映画が撮影されている話があるので、将来的にこの学習を教材化して定着させていきたい。 |
| 数学科部会 | 中学校の乗り入れ授業の実施(通年) 中学校・高等学校相互の公開授業(11・12月) 中学校3年生対象の乗り入れ授業(2月) | 今年度の通年乗り入れ授業では、週3時間中学2年生への授業を行っており、習熟度別3展開授業が実施できた。また昨年度から2月の乗り入れ授業を、高校入試に特化した結果、学力の向上が図られた。今年度も良いものにした。 |
| 理科部会 | 春課題テスト、小テストの実施(通年) 百人浜事業に関連した水質調査(9月) 中学校・高等学校相互の公開授業(9月～11月) | これまで課題であった、基礎学力の定着、科学的文章の読み書き、中学校での複数教員による授業を目標とし実施した。その結果基礎的な計算力が年々身につくこと、またプレゼンテーション能力も高まっている。今後さらに連携を図りたい。 |
| 保健体育部会 | 中高一貫した体力テストの実施 中高授業交流の実施 高校教員の乗り入れ授業の実施 | 筋持久力や柔軟性が課題であったが、授業において補強運動の時間を設定し、体力の向上に努めることができた。また授業交流ではチームティーチングを実施し、きめ細やかな個別指導ができた。乗り入れ授業により、新たな種目の学習もできた。 |
| 英語科部会 | 中学校の乗り入れ授業の実施(通年) 中高合同英検の実施(6・10月) 英語問答練習および乗り入れ授業(1・2月) | チームティーチングでは中高の先生方が授業前、授業後の打ち合わせを入念に行い、効果的に実践できている。また英語検定では2級(高校卒業程度)の合格者が3名出るなど、今までの指導が着実に成果として現れている。今後は乗り入れ授業により、中学3年生の学力向上を図りたい。 |